

# 令和7年度（第46回）中国高等学校ゴルフ選手権春季大会 令和7年度（第46回）中国中学校ゴルフ選手権春季大会

<主催>中国高等学校・中学校ゴルフ連盟

スポーツニッポン新聞社

<後援>中国ゴルフ連盟、広島県ゴルフ協会

<協賛>ブリヂストンスポーツ、住友ゴム工業

開催日 令和7年12月11日（木）、12日（金）

開催コース 広島カントリー倶楽部・西条コース  
(Tel: 082-426-0123)

## ＜ローカルルール＞

1. アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。なお、現にプレーしているホールのOB線を越えて、他のホールに止まった球はアウトオブバウンズの球とする。
2. レッドペナルティーエリアは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
3. カート用の軌道は全幅を持ってカート道路とみなす。プレーヤーは球がこのカート道路上に止まっている場合に限り、ゴルフ規則16.1aに基づく救済を受けなければならない。レール間の芝生部分についても、救済を受けなければならず、プレー禁止とする。  
ローカルルールに違反の罰：規則14.7aに基づく一般の罰。
4. 排水溝
  - (a) 排水溝は動かせない障害物とする。
  - (b) 人工の表面をもつ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
5. 不可分な部分
  - (a) 樹木に密着させてある巻物施設やその他の物。
  - (b) ペナルティーエリア内にある人工的な構築物。
6. プレーの中止（規則5.7）  
プレーの中止と再開の合図
  - 通常のプレー中断：3回の連続する短いサイレンを鳴らして通報する。
  - 険悪な気象状況による即時中断：1回の長いサイレンを鳴らして通報する。及び、大会本部より競技委員を通じて競技者に連絡する。
  - プレーの再開：2回の短いサイレンを鳴らして通報する。

## ＜注意事項＞

1. 競技の条件やローカルルールに追加、変更があるときは、掲示板およびスタートホールのティーイングエリア付近に掲示して告示する。
2. 練習は指定打球場で行うこと。備え付けの球で1人1箱を限度とする。
3. バンカー練習場、アプローチ練習場については、スタート前のみ利用可能とする。
4. プレー進行に留意し、先行組との間を不当にあけないように注意すること。正当な理由なく、前の組に1ホール以上遅れた組は、ペナルティーを課す場合もある。
5. スタート時刻10分前には、必ずティーイングエリア周辺に待機すること。
6. 体調不良を少しでも感じたら、コース上全ての人の為に競技を棄権し、委員会に申し出ること。
7. 成績はホームページでの掲載とし、随時更新するので各自確認のこと。

8. プレー終了後は、精算を済ませること。待機する場合は密にならないように心掛けること。
9. スタート後はホールアウトするまで携帯電話など通信機器の使用は禁止する。これを違反した場合は、アドバイスを受けた可能性があるとみなし、ペナルティーを課す場合もある。
10. 競技当日、中学生の部はキャディーがつくが、コースガイド兼スコアラーである。競技の進行や危険防止のために必要な指示以外は、一切アドバイスは受けられない。
11. ハーフターン待ち時間の練習は「指定練習グリーン」におけるパッティング練習のみとする。ハーフターン時の打撃練習場及びアプローチ練習場の使用は不可とする。
12. 指定練習日、および第1日競技終了後の「指定練習グリーン」におけるパッティング練習は、最終組ホールアウト後30分までとする。※最終日ラウンド終了後は、使用禁止。
13. 使用ティーの色は、高校男子=青、高校女子=白、中学男子=白、中学女子=赤とする。
14. 本競技は、2日間36ホールを終了できなかった場合は競技を短縮する。

### <義務事項>

1. この「ローカルルール・注意事項」をプリントアウトし、持参すること。また目土袋・スコップは、競技開始から終了まで必ず携帯し、目土を実行すること。ただし、目土ポットは禁止とします。
2. 服装は日本高等学校ゴルフ連盟ユニフォーム規定に準ずる。帽子・シャツには必ず校名を入れておくこと。  
(※ユニフォームの上に着るセーター、ウインドブレーカー等の防寒具には不必要)  
また、ベルトは無地・単色とし、装飾金具は禁止とします。
3. 中・高校生として、スポーツマンとして好ましからぬ言動を厳に慎むこと。また、プレー中の私語は特に慎むこと。
4. 茶髪・長髪・パーマネント等、中・高校生として品位を疑うようなヘアースタイルでの大会参加は、厳に慎むこと。
5. ネックレス・ピアス・ブレスレット等、装飾品は大会参加に不要なものであり、厳に慎むこと。

以上、義務事項を遵守できない場合は、主催者より厳重な指導が行われる。

競技委員長 野村 純孝